

第39回 日本看護科学学会学術集会

ヒトと人間の科学を看護へ ～時空を超える我々を知り、看護学を別次元へ発展させよう～

2019 11/30土>12/1日 学術集会長：石垣 和子 (石川県立看護大学 学長)

特別報告会

「特定行為研修制度の現状」

本制度は、2025年に向け、さらなる在宅医療などの推進を図っていくためには、個別に熟練した看護師のみでは足りないことから、医師の判断を待たずに、あらかじめ示された医師の指示(手順書)により、一定の診療の補助(特定行為)を行う看護師を養成し、確保することを目的としています。

当該制度の実施状況や周辺状況を踏まえた法公布後5年度の見直しの概要、実態調査の結果等に触れ、特定行為に係る看護師の研修制度を推進していく観点から課題や推進に向けた取組等について報告します。

日時

2019年11月30日(土) 9:30～10:30

場所

石川県立音楽堂2階 (第2会場 邦楽ホール)

演者

習田 由美子

(厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室 室長)

座長

石川 倫子 (石川県立看護大学)

主催：厚生労働省